

東日本大震災被災地支援ボランティアに行ってきました。!

平成24年8月23日(木)～26日(日) ボランティア活動

東日本大震災の被災地でボランティア23名が8月23日(木)から26日の日程で復興支援活動をおこなってきました。

岩手県遠野市のまごころネットを拠点に24日(金)は釜石市で住居のがれき撤去、25日(土)は大槌町の神社の参道の草刈りに行ってきました。

震災から1年5か月が過ぎましたが、現地は仮設住宅が並び、震災ゴミが山積みの状況で、8月末とはいえ、暑さは衰えておらず、皆さん水をこまめに補給しながら活動に取り組んでいただきました。

現地スタッフは、「今は夏休みで大勢の人に来て頂いていますが、これが過ぎるとグッと減ることが予想されます。皆さんは家に帰ったら周りの人に現場の様子を伝えて欲しい。」と息の長い支援を訴えておられました。

【平成24年8月24日(金)】

午前7時40分からの遠野まごころネットでのラジオ体操&朝礼

団体はここで、当日の活動場所が発表されます。



活動場所は釜石市鶴住居(うのすまい)における宅地の瓦礫撤去及び清掃作業。最近の活動は生活支援から心に寄り添う活動に変化してきています。この地は12月にはすべて整地され、もう家の建つことはないそうです。



昼休みに見に行った釜石市鶴住居
(うのすまい) 地区の防災センター。
山に逃げずに防災訓練でここが避難場所
になり、ここに避難したことで、ここで大勢
の犠牲者が出ました。



活動が終了して記念写真。
これで、ここで住んでいた人が見に来て、
心の整理がつけられそうです。



午後 5 時 10 分からの全体ミーティング。
ここで各地の被災地の現状や復興の状況が
報告されます。



宿泊は遠野まごころネットが一杯で第 13 区
自治会館。遠野まごころネットへの出発前に
宿泊者全員で記念写真。
(黄色ジャケットは日本赤十字社岡山県支部
の皆さん)



【8月25日（土）】

震災から1年5か月になりますが、基礎だけの宅地が延々と続く。ここも年内には整地され、もう家が建つことはないそうです。大槌町赤浜



活動場所になった神社（大槌町赤浜2）の草取り。鳥居は倒れたままでした。



まちづくりへの復興が始まっています。



2日間の活動を終え、帰る前に全員で記念写真。皆様大変お疲れ様でした

